

目標達成計画

事業所名 グループホーム北さんち

作成日 : 平成 25年 3月 11日

評価結果

市町提出日 : 平成 25年 3月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者・ご家族様のご意見・ご要望をお聞きする機会が少なく、サービスに対する疑問やご心配な事に十分お応え出来ていない。	職員はご利用者・ご家族のご意見に耳を傾け積極的にご要望や疑問点をお聞きするように働きかける。	これまで通り近況報告をお便りとして発信していくが、一方通行の情報提供ではなく、職員の移動や行事の参加呼びかけ、ご要望アンケートなどを作成し、ご意見ご要望を発信しやすい方法に変えていく。	12 か月
2	33	終末期について当施設の看取り指針をご説明し、看取り意向確認書のご同意やご家族のご希望をお聞きする機会を設けているが、個人別の看取り計画や職員の研修・検討がまだ不十分である。	ターミナルケアにおける指針の拡充と職員の研修を充実させる。 医療機関(往診・訪問診療)とも協力関係を強化する。	看取り指針の明確化を図り、ご家族と十分な話し合いを行い、ご家族と共に看取り計画を作成する。また、振り返りを行い職員全員が学び合い死生観やターミナルケアについて話し合う場を設ける。さらに近隣の医療機関と関係を強化していく。	12 か月
3	35	年2回の避難訓練を実施しているが、訓練の内容、特に夜間時の対応や地域との連携が不十分である。	訓練実施後の検討を行い、反省点をもとに災害対策より充実させる。夜間緊急時、災害時の対応、行動手順を確立させる。地域(自治会や消防団)の連携を図り関係を強化する。	災害避難訓練実施後の反省会、検討会を実施する。消防署の協力を得て、訓練の指導をお願いする。職員の防災意識を高めるため、月1回程度防災について話し合いの機会を設ける。自治会へ防災訓練の相互参加を呼び掛ける。	12 か月
4	4	2か月に1回の運営推進会議を開催しているが、家族様のご参加が少なく、あまり交流がない状態が続いている。	気軽に集える内容を盛り込み、家族会を兼ねた交流の場にしたい。	ご利用者と共に食事会を企画したり、年中行事に盛り込む。介護教室や避難訓練などの研修をご家族と企画する。	12 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。